

熱中症対策

緊急要請



熱中症対策及び災害時避難場所の環境改善に設置された小中学校のエアコン。子どもたちや教職員から大変好評です。23年市内小中学校での集団熱中症発症時、議会最終日に緊急質問を行い、市民の願い実現を後押ししました。



日本共産党 流山市議会議員

おだぎりたかし

流山民報（23.7.26）小田桐090 - 8567 - 8858

日本共産党千葉県流山市議団は19日、井崎義治市長に熱中症対策を要請しました。

連日の猛暑から市民の命を守る万全の備えと努力や工夫が欠かせないとして▽市公用車両などで注意喚起▽公共施設での避難・一時休息▽暑さ指数計の設置や配布▽電気・ガス価格激変緩和対策事業の9月廃止の撤回と継続：などを求めました。

いぬいえり市議は「市民の声や深刻な実情への迅速に対応を」と述べました。おだぎりたかし市議は「熱中症は命の危険にもつながり、搬送増大で救急隊も疲弊している。公共施設の設定温度の引き下げや、一時的な避難や休息ができるスペースの提供に取り組み、市民に周知してほしい」と訴えました。須郷和彦市総合政策部長は「タイムリーな要請。庁内で共有します」と応じました。

低所得者へのエアコン購入補助など実施へ

日本共産党市議団は、政府が2018年4月以降、新規で生活保護を利用している世帯に限定したエアコン設置支援を歓迎しながら、それ以前から生保利用世帯との格差解消を求め、20年度（単年度事業）に市独自に支援を実現しました。

さらに、23年度、国交付金を活用した市独自の「省エネ家電製品（エアコン・冷蔵庫）買替促進補助金」について、制度創設を評価しつつも、低所得者が取り残される状況を指摘。今年度、低所得者の枠を市独自に策定し、商品を買う時点から割引が受けられる制度へ改正・充実されました。

増税政治ストップを！

インボイス制度の延期・見直し意見書 **可決**

「申請取り下げ」「再申請」は可能

インボイス制度の延期・見直しを求める意見書が、7月12日閉会した流山市議会（2023年第2回定例会）で、賛成多数となり、可決しました。21年流山市議会第2回定例会で一度、否決されていたりましたが、国民世論と運動の広がりが、大きく事態を変化させました。

インボイスとは、消費税法における適格請求書等保存方式のことで、今年10月1日より実施される予定ですが、多方面から、反対や延期等を求める声が高まっています。

サッカー界では、J1クラブの主力選手にはほとんど影響がありませんが、J2以下の6〜7割の選手が増税の対象となるうえ、年棒が1千万円以下の選手を多く抱えているクラブほど増税になると指摘されています。

サラリーマン増税

奨学金、通勤手当に課税

中小企業・フリーランスなどへの増税（インボイス）の次は、サラリーマン。

6月30日に提出された政府税制調査会の答申には、増税・課税のオンパレード。対象は、給付性奨学金、通勤手当、退職金、失業給付、生活保護費等々：国民から怒りの声が広がっています。



2023年第2回定例会 星取表

会派	結果	日本共産党					流政会							自民党		公明党			流山みらい										
		乾	高橋	植田	小田	小沢	鈴木	矢口	川本	渡辺	近藤	石原	坂巻	笠原	青野	中川	海老原	桑畑	岡	戸辺	野村	宇田	清水	西尾	楠山	中村	藤井	森田	阿部
議員名																													
○賛成 ×反対 ー棄権																													
※議長は表決に参加しない。欠：欠席																													
インボイス制度の延期・見直しを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	○